



COOP JOSO News Letter

常総生活協同組合
発行 / 生協広報G



【ものづくり・人づくり・地域づくり】2018 年度活動テーマ ～素材を活かしてわが家の味～

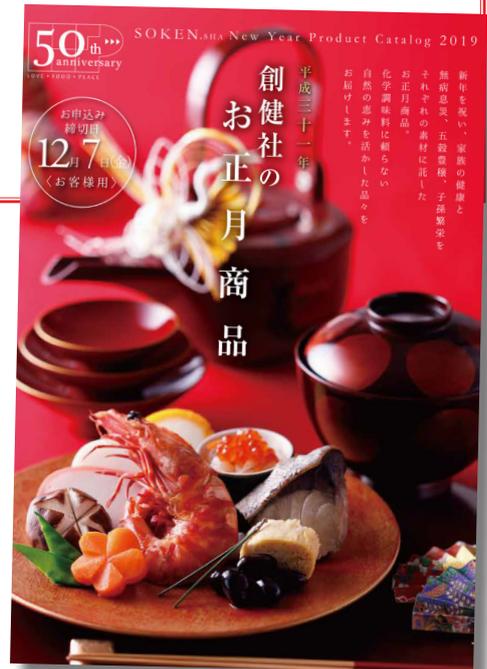
【超お買い得情報の速報】

常総生協の新春おせち 2019 早割のお知らせ

創建社のおせち(対象商品)を 10 月 3 回～ 11 月 1 回(4 週間)の期間にご注文された方は **3% OFF!!**

新年を祝い、家族の健康と無病息災、五穀豊穰、子孫繁栄をそれぞれの素材に託したお正月商品。化学調味料に頼らない自然の恵みを活かした品々をお届けします。

※詳細は次週 10 月 3 回にカタログ配布します。



和風お重セット 19 品

2018 年 10 月の予定

●生協基幹運営／地域活動・催し●

- ・ 10 月ゴンタの丘「常総っこ応援団」は毎週木曜日活动しています。試食会は 10 月 25 日に行います。
- ・ 10/1 (月) 脱原発とくらし見直し委員会
- ・ 10/2 (火) 私たちのくらしと憲法
- ・ 10/6 (土) まずは落花生産地交流会
- ・ 10/10 (水) ゆるカフェ in 千葉地区
- ・ 10/19 (金) 歴史を学ぼう - 未来のために

●提携・協同・連帯企画●

- ・ 10/5 (金) GMO フリーゾーン全国集会実行委員会
- ・ 10/12-13 (金、土) NW21 生協組織担当者会議
- ・ 10/14 (日) 関東子ども健康調査基金年次報告会
- ・ 10/19 (金) NW21 生協役員会
- ・ 10/21 (日) 我孫子産業祭、新しい風さとやま 稲刈り
- ・ 10/27 (土) 甲状腺検診 in 水戸

規制委が新基準許可を出す見通しを示し、 「東海第2 運転差止訴訟」は、重要な局面へ！



傍聴参加職員 木本 さゆりさん

2012年8月の提訴から6年が過ぎた「東海第2 運転差止訴訟」は、9/13（木）に 水戸地裁の法廷（前田英子裁判長）で 第22回目の口頭弁論を行いました。今回、原告側は、日本原電の基準地震動策定に多くの不備がある点と、赤城山噴火時に最大約50センチ積もるとされる火山灰のリスクを過小評価している点を指摘しました。難しい技術面のこと、専門的な火山灰についても綿密に調査され、規制委員会の会見などから更田委員長の発言もウォッチして作りこまれた準備書面が、今回もすばらしかったです。

原告側は約1時間、スライドを用いて弁護士さんが主張の説明をしましたが、国は書面を提出したのみで、原電側は書面提出もなく、一言も話さず法廷を後にしました。（これがいつも頭に來ちゃいます！）傍聴席は今回も満席で、数えてみたら、「被告側」の傍聴席は5席のみ。記者席が10席ほど。残りの60席近くは原告側が占めていました。このことがとても大事だそうです。住民の関心がこんなにあるのだ、ということを示す1つの指標になるからです。これからが大事なときです。常総

生協は原告団事務局ですので、組合員の方はどなたでも、たくさんいらしてください。

次回の口頭弁論は2018年11月29日（木）、次々回は2019年2月14日（木）です。原告側は2/14に主張を終えて、そのあとは証人尋問にうつります。気になる判決は、東海第2の事故対策工事が終わる2021年3月末までに出すとのことです。

新聞やニュースでも報じられている通り、原子力規制委員会は、来月11/28に40歳を迎える東海第二原発の再稼働申請、20年延長申請、新基準適合工事申請に対して「許可の見通し」を示しています。許可が下りて工事が終わったあとの判決って・・・遅いですよね。なので、もし原電が規制委の審査をパスした場合、首都圏各地の裁判所に運転の差し止めを求める仮処分を申請する準備をしているとのことでした。

東海村を含めた近隣6市町村に「うん」と言わせないことはもちろん、6市町村に住んでいなくとも、福島事故の経験を踏まえれば、事故被害を受けることは間違いのない私たちの住んでいる地域でも、「東海第2 運転差し止めの意見書」を地元議会に採択してもらおうなど、住民主導の動きを起こしていきましょう！！



傍聴参加職員 伊原 昂宏さん

○今回初めて裁判を傍聴しました。

多数の方が傍聴を希望されており、改めて原発裁判の関心の高さを感じました。希望者が全員聴ける訳ではなく抽選となりました。傍聴席は満員で7割近くが原告団の席となっており、裁判官へ原告側の結束力をアピールできたと思います。

私自身、人生で初めて裁判を体験しました。口頭弁論とは原告、被告が資料を事前に裁判所に提出し、その資料を基に傍聴者にも聴いていただく

というような感じを受けました。時間が限られている中で専門用語を早口で報告されていたため、内容を理解するのは難しかったです。

裁判中のイメージとしては、テレビドラマなどで見るような原告、被告が双方国会討論の様に答弁するのかと思いきや、被告側は資料の提出のみで、原告だけが1時間報告。今回は裁判の1回目の口頭弁論で判決が出るまで、3回の口頭弁論を行い、裁判官が判決します。

今回の裁判官は熱心にメモを取っていらっしゃっていたため、公平で正しい判決をしていただきたい限りです。

日本原電・東海第二原発のために私たちのお金を使わないでください。 署名のご協力をお願いします。(専務理事 伊藤)

東電が東海第二原発再稼働の資金を支援するのほとんどない!

国・規制委委員会は今年9月末にも「東海第二原発」の再稼働を許可し、さらに2038年までの20年運転延長を認めようとしています。

審査の過程で、事業者である日本原電(株)には資金がないために、再稼働に必要な工事資金1,740億円をあの東京電力が資金支援することが明らかになりました。

東京電力が国民の税金を使って実質「国有化」されたのは「福島原発事故被害者への賠償を円滑に行う」ため、他社の原発の再稼働に資金支援するためではありません。

法律では原子炉を設置するための要件のひとつに「その者に経理的基礎があること」とされています(原子炉等規制法)。

日本原電(株)は使用済み核燃料再処理費用の負担や廃炉費用積立金の不足で震災前の2010年には経営危機に陥っていました。土地建物だけでなくなんと現預金141億円のうち80億円までも銀行の担保にとられている会社です。しかも2011年以降は電気を発電することなく、維持費は電気料金に上乗せされて電気利用者(国民)が負担しています。その額はこの7年で8,000億円を超えました。このような会社に原発を運転する資格はありません。

規制委員会をはじめは「安全上の十分な投資ができ

ない主体に対して、原子炉のような潜在的に大きなリスクを抱える施設の運用を認めることはできない(2018年3月更田委員長発言)と言っていたにもかかわらず、東京電力が資金支援を表明したとたん「その者(日本原電)に経理的基礎があると認める」としました。



被害を受けた福島の人たちへの補償のために国民の税金で東京電力を維持しているのに、その国民のお金をどうして他の原発の再稼働にまわしてよいでしょうか? 国会でも「他の原発に資金支援する金があったら賠償に回せ、廃炉にまわせ、電気料金を下げろ」と追及されています(衆院予算委員会4月)。ところが経産大臣は「それは東電の経営判断だ」と答えました。

私たちは、国際環境団体のみなさんといっしょに「①国民の税金を東海第二原発の再稼働資金に使うな、②東海第二原発を許可するな」という署名を集めて、東京電力、経産大臣、規制委員会に求めたいと思います(署名呼びかけ協力団体に常総生協も入りました)。

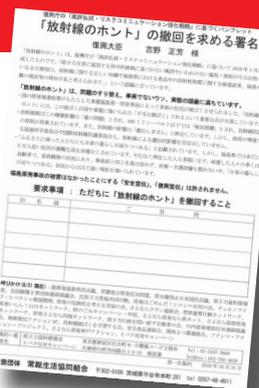
組合員のみなさん! 別紙署名にご協力をよろしく願いいたします。また、東電や経産省、規制委員会に署名を持って行く時はぜひごいっしょ下さい。

また、引き続き日本原電に対しては「もういいかげん再稼働を断念するよう」申し入れをしたいと思います。

他にも「放射線のホント」を撤回する署名も今週配布しております。そちらもご協力よろしくお願い致します。(専務理事 伊藤)

7月5日、脱原発福島県民会議をはじめ9団体は国際放射線防護委員会(ICRP)2007年勧告国内法取入れ反対と福島原発事故関連要求の対政府交渉を行い、その中で「放射線のホント」の内容を批判し、撤回を求めました。

参加者から「不当な被ばくと記載せよ」、「事実を伝えていない」、「福島県民、国民を愚弄するものだ」、と怒りの声が相次ぎました。しかし、復興庁は撤回を拒否し、放射線防護の立場には立ちませんとも言いました。「放射線のホント」の撤回を求める署名を全国津々浦々に広げ、それを背景に復興庁に撤回を迫りましょう。



理事会よもやま通信

常総生協はみんなの「ほしい！食べたい！知りたい！」を応援します

発行 常総生活協同組合
TEL0297-48-4911
FAX0297-48-6675

地区ごとのゆるカフェ始動しました！

<ゆるカフェ写真>



水曜日コース



木曜日コース

鈴木牧場牛乳、定期登録申し込みの再開まであと少し！登録できなかった方、これを機にぜひ登録なさってくださいね！
理事会では登録しただけの方にはプレゼントを計画中。乞うご期待！

「からだも気持ちも自分でケア」
木曜日コースは、職員の加藤さんのクラシックギター生演奏を聴きながら、心も体もリラックス。自分でできる「神ワザ腰痛ケア」を伝授して下さる組合員さんもらつしゃって大好評！次回土浦・牛久会はその方を講師にお呼びして、「自分で自分を癒そう」をテーマに開催する予定です。皆さん来てくださいね。

「泥パックは重さが重要」
ハイム化粧品担当者様とお話して初めて知ったことは、泥配合のパックは重さが重要だということ。泥の配合量が多ければ多いほど商品の重量があり、効果があるらしいです。（ちなみにハイムのクレイパック「ちゅら海のどろろ」は、ずっしり重かったですよ。試した後の手が真っ白！びっくりしました。）

「おぐいしコーヒー新発見」
高くてあまり手が出ないコーヒー豆も、みんなを試飲してみると大発見がありました。21世紀コーヒーのゴパカバーナは、酸味も苦味もとてもバランスが良くて大好評でした。（手でドリッ普するのが苦手な私は、マシンで入れると安定しておいしかったですよ。）

7月から始まりました本年度のゆるカフェ。今年は場所が遠くて行けない！との組合員さんのお声を踏まえ、総代さんのお力も借りて各エリアで開催していくこととなりました。今回はその中のエピソードを紹介いたします。

次回エピソード募集！

理事会では、次回テーマ「風邪・病気に役立つ私の生協話」を募集！

これから寒くなっていきますが、皆さんどうやって風邪対策していますか？そのほか皆様の面白い話、言いたいことも募集しています！

先日またいつもの中耳炎にかかって困っていたところ、理事長から「しそジュースが鼻水・中耳炎に効くからと、毎年飲んでいる人がいる」と聞き、さっそく作成しました。確かに2、3日後にすっきりしている気が！この話、ほかの組合員さんにも知られていることらしく、ある方は今年30本のキサイチの酢を買って作ったそう！すごい！赤じそがなくなったので、青じそでも作ったら、色は違えど味は同じ。また理事の一人は、生協に入って食べ物を選ぶようになってからお子さんが病気にならなくなったそう。こんなお話をぜひぜひ皆さんも聞かせてくださいねー！！

..... 切り取り線

「わたしの風邪・病気に役立つ生協」は？その他ご意見・色々なエピソードもお聞かせください。

ペンネーム；

もしくは、掲載可能なお名前；

組合員番号；

連絡先；